

小学生と楽しむドラマワーク
—絵本をドラマにする—

宮崎 充治
(桐朋小学校)

こんにちは。獲得型教育研究会の宮崎と申します。私たち獲得型教育研究会は、学習者が主体となる獲得型授業（「自学の訓練」とディスカッション、ディベート、プレゼンテーションなど「参加・表現する学び」）の方向へシフトすることをめざして研究を重ねています。小学校から大学までの、校種を越えた教員が集い、日常の授業でも使うことができる手法（アクティビティ）を開発し、体系化することをめざしている団体です。

（詳しくは ホームページをご覧ください。 <http://www.kakutokuken.jp/> ）

今回国際言語表現学会で行うワークショップは「せかいいちうつくしいぼくの村」という絵本を使ったワークショップです。この絵本はアフガニスタン内戦を背景に、主人公のヤモ少年が成長していく姿を描いた美しい絵本です。絵本のワークといっても、その使い方によって、小学生から中学生、高校生、大学生でもできるものとなっています。

短い時間ですが、学びの場をつくるウォーミングアップ＝簡単な自己紹介やゲームでやさらかな学びの場をつくれます。絵本の世界に入り込み、登場人物になって感じるワーク、リサーチをはさんでドラマを深める体験をしていただけたらと思います。

参加される方はがまんして、この絵本を * 読んでこない * ようにしてください。絵本の世界に入りながら、考え、感じることを楽しんでみてください。